



校長室だより

ひとりひとりの「やりたい！」を形にした2学期



コロナ感染の高止まりが続いている2学期後半、本校では1クラスの学級閉鎖もなく無事2学期を終了することができました。これも全校生徒・教職員・保護者の皆様のご協力のお陰です。本当にありがとうございました。さて、この約5ヶ月を振り返ってみると、生徒ひとりひとり、また各学級・学年等に様々な成長の姿が見られました。その一部を終業式の話で以下のように紹介しました。

「コロナ禍の生きがい」を具体で示した3つの出来事

全校の皆さん、今日で2学期が終わります。新型コロナ感染状況の高止まりが続く中、まず最初に皆さんに感謝したいのは、中込中学校ではこの2学期、それだけでなくこの3年間、コロナによる学級閉鎖が1クラスもなかったことです。特にこの2学期は、佐久市内の小中学校で感染が急拡大し、市内多くの小中学校で学級・学年閉鎖、更には休校になった学校もありました。本校ではコロナに罹患した人は若干いましたが集団感染には至らず、多くの人の感染予防により学校行事などほとんど予定通り実施することができました。当たり前には学校生活ができたのは全校の皆さんや先生方、保護者の皆さんの協力のお陰です。本当によかったです。ありがとうございました。

さて、2学期を振り返ってみると、今年の私のキーワード「With CORONAの生きがいづくり」が具現された姿が幾つも見られました。この視点で2学期約5ヶ月間を振り返った時、特に心に残ったことを3つ話したいと思います。

まず1つ目は9月の「秋桜祭」です。3年生を中心に全校が協力して様々な「やりたい！」を形にしました。2年ぶりに復活させた「コスモステージ」、コンクール形式をやめた「音楽祭」をはじめ、今年の文化祭テーマ「Our Trace やりたいを形に」を心に留めながら、大変中身の濃い2日間になりました。地域の方々に協力していただきながら、全校で取り組んだ「アンブレラスカイ」は、日頃見慣れた中庭を素敵な創造的空間に変身させました。この姿



【「やりたい！」を形にし、「感動」と「達成感」を得た秋桜祭】

は、信濃毎日新聞や佐久市民新聞にも取り上げられ、昨年に引き続き中込中の活動を広く地域や県内に発信することができました。また、大きな課題を乗り越えたことから学んだ姿もありました。それは、「コスモステージ」と「音楽祭」をどの様に開催するかで1学期後半白熱した議論となり、そのため準備日程が例年になく遅れてしまったことです。夏休み明け短い日程に焦りを感じながら企画・運営を進めていくなかで、各クラスムービーの撮影をしたり、合唱練習をしたりしながら1日1日準備を積み重ねた時間は、9月後半に大きな盛り上がりを見せ、今年でなければ経験することのない貴重な成長の時間になりました。コロナ禍3年目の今年だからこそ体験することができた「生きがい」と「達成感」を感じた時間でした。

2つ目は1～2年生が中心となって取り組んだ部活動新人戦です。私は担当が野球とサッカーだったため、この2種目は終日参加する日がありましたが、この中で今年特に印象に残ったのが女子部員の皆さんの活躍です。野球もサッカーも当日の試合で、男子女子関係なくメンバーに選ばれ躍動する姿を目の当たりにしました。この様に複数の部活で男女が一緒に活躍する姿は、中込中ではここ数年で初めて見る姿であり、新たな部活の姿として心に残りました。また、他の部も3年生が引退して少人数になりながらも、幾つもの部が勝ち上がり、女子テニス部・男子バレー部・女子バスケット部は県大会に勝ち進むなど来年に繋がる活躍が見られました。

最後3つ目です。それは、先日行われた「第2回学友会総会」です。今年も約2時間半という長丁場になりましたが、今年度の学友会を締めくくるにふさわしい、充実した時間になりました。私が特に心に残ったのは、後半行われた体育館使用日に関する議論です。これは、ここ2年間継続してきた課題で、自分の在籍する学年が変わることで立場が変わるため、考え方も変わることが予想される難しい議論でした。



【真摯に答弁する小池学友会長】

「令和5年度以降の体育館使用割りについて」(1年生の昼休み体育館使用日の不平等を改善する本部・体育委員会からの提案)に対して、「賛成」「反対」の立場から様々な意見が出されました。最後の採決では本部提案は可決されませんでした。この議論の中で「新たな提案」がされた点が特に印象に残りました。それは1年生A・Yさんの意見で「学年の使用日を平等にするということは大事だし賛成です。ただ、提案された昼休みの分け方だとわかりにくいので、朝の時間を各学年に割り振って、朝と昼を足して各学年週3回ずつ

使える様にして平等にするのはどうですか。」という意見でした。私はこの意見を聞いて「はっ」としました。「全校生徒が平等で楽しい学校生活を送る」という原点に立ち返ったとき、このような新たなアイデアが出て来たことが、この話し合いの価値だと思ったからです。このような建設的な意見を来年度に引き継ぎ実現することが今回の話し合いの意義になると改めて思いました。つまり「A」という考え方と「B」という考え方について議論をし、その結果、より良くなりそうな「C」という提案がされたことに大きな価値を感じました。「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」という中込中学校の学校目標に近づくために、「SDGs」の「平等」の精神を根本にした議論ができた充実した時間になったと思います。「これからの世の中で必要な力」を学友会総会の場で、全校で学べた具体の姿だと感じました。

この他にも、10月に教育課程研究として行われた1-1組「特別活動」の授業、11月に道徳教育の県大会として行われた1-2組の研究授業、学事職員の研究授業として行われた3-2組の国語の授業などでは、他校から来校した多くの先生方に学びの姿を見ていただき、お褒めの言葉を沢山いただきました。主体的・対話的に探求する学びの具体の姿がありました。



【多目的室で行った1-2道徳の県大会授業】

2学期始業式で私は2学期の目標を次のように話しました。「With CORONA の生きがいきづくり、を意識しながら、成長していく実りの2学期にしていきましょう」でした。今改めて2学期を振り返った時、「コロナ禍の生きがいきづくり」を具体的な姿として実現することができた成長の2学期になったと思います。

さて、明日から楽しみな冬休みです。今年の冬休みは明日12月28日(水)からスタートする13日間の休みですが、冬休みが終わると、3年生にとって人生最初の大きな壁とも言える「高校入試」が控えています。また、1年生は中学校での「先輩」になる準備を、2年生は中込中を引き継いでいく大黒柱となる大事な引き継ぎの3学期です。コロナ感染予防を意識しながら、この冬休みにしっかりとエネルギーを蓄え、家の方や地域の方々と仲良く、安全に楽しく過ごしてください。そして新年1月10日(火)には、また、元気に集まりましょう。以上で2学期終業式の話を終わります。

「With CORONAの生きがいきづくり」をキーワードにした今年度の2学期、多くの子ども達の中に成長を感じる姿が沢山見られた嬉しい2学期でした。また、保護者の皆様にはコロナ感染予防をはじめ、様々な学校からの急な依頼に迅速に対応していただき本当にありがとうございました。お陰様で充実した2学期を送ることができました。3学期もご支援・ご協力よろしくお願ひ致します。今年も残すところ後4日です。一足早いですがよいお年をお迎え下さい。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876